

【支部総会報告】

令和5年度 京都医療科学大学 学友会 奈良支部総会開催報告

奈良支部 前支部長 岩井啓介(59 回生)

令和5年7月15日(土)17時00分より、近鉄奈良駅から徒歩5分の位置にあるイタリア料理レストラン「Olive Dining」を貸し切り、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として取り止めていた「京都医療科学大学学友会奈良支部総会」を4年振りに開催いたしました。今回も学友会総会開催1週間余り前から新型コロナウイルス感染拡大が生じ、幹事の間では開催を中止する方向で動いていましたが、神様のお告げではないのでしょうか、年中無休のはずのお店が開催前日まで臨時休業となり、連絡がつかないというアクシデントに見舞われ、総会終了後参加者の間で感染拡大が生じないように神に祈りながら開催することとなりました。

今回の支部総会には、来賓として本年度から新たに学長に就任されました玉木長良学長をはじめ、5月の学友会総会で新たに会長に就任されました当支部の会員である錦 成郎学友会会長(54 回生)、赤澤博之学友会副会長(65 回生)、高田春彦大阪支部長(短8 回生)、神澤匡数兵庫支部長(短7 回生)、西関 剛滋賀支部長(65 回生)のご臨席を賜り、また大学からは松尾 悟先生、遠山景子先生をお迎えして、総勢29名の方々のご参加で盛大に開催させていただきました。

支部総会に先立ち、島津製作所の奥野智晴氏から「一般撮影装置/ポータブル装置の最新動向」という題目でご講演いただきました。会員の大多数の施設で使用している撮影装置のお話でしたので、参加者一同大変興味深く拝聴させていただき、次回の装置更新時の検討に良いプレゼンテーションになったものと思います。

続いて総会へと進み、待鳥 尚子氏(短6 回生)の司会進行のもと岩井啓介支部長(59 回生)の開会の挨拶で幕を開けし、続いて玉木学長から学校の近況報告を含めてご挨拶いただき、次に錦学友会長よりご挨拶をいただきました。

次に総会に移り、岩井支部長司会のもと、待鳥尚子氏より会計報告が行われ、内容について満場一致で承認されました。

議事の最後として、岩井支部長退任に伴う支部長選挙が行わ



れ、待鳥尚子氏が満場一致で選任され全国の学友会で女性初の支部長就任となり、待鳥氏より新支部長就任のご挨拶をいただいたのち総会は閉会となりました。

総会終了後、参加者全員で記念撮影を行い、待鳥尚子氏の司会で、埜籐真純名誉会員より乾杯のご発声をいただき開宴となりました。今回は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、私の施設で会食の制限が設けられ4人以上での会食が禁止されてしまい、当院から参加した5名が懇親会に参加できないというアクシデントに見舞われたこともあり、乾杯に引き続き大阪・兵庫・滋賀各支部長並びに今回の支部総会開催に多大なるご支援をいただきました島津製作所の赤川佑樹氏よりご挨拶をいただきました。

引き続き過去4年間に卒業された新入会員(大学10回～13回生)8名の方々の自己紹介を行いました。10回生～12回生の皆様には新型コロナウイルス感染拡大のためとはいえ、卒業年度にご紹介をする機会を持てなかったことを心からお詫びするとともに、今後の新入会員の皆様の御活躍を期待し、奈良支部及び本部の学友会活動への積極的なご協力をお願いしたいと思います。

新人紹介が終わった後、私の施設の参加者は会場を退席し、懇親会が本格的に開始されました。徐々にお酒も入り、会員同士の話も盛り上がりを見せ、久しぶりの会員との再会と久しぶりの懇親会開催に酔いしれているのか、話に花を咲かせ楽しそうにお喋りをして、美味しそうにお酒を酌み交わす姿を見たときに、今回懇親会を中止とせず企画できて本当に良かったなと感じました。

奈良支部新支部長に就任された待鳥尚子氏による閉会のお言葉で、会員の皆様から閉宴するのを惜しまれながら、予定時間より30分延長の上お開きとなりました。

今回の奈良支部総会は過去一番の参加人数となる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大が生じ始めたこともあり、急遽7名が欠席となりました。楽しみにしていた皆様には次回是非参加していただき楽しいひと時を過ごしていただきたいと思います。今回参加していただきました皆様にはお願いですが、自施設の卒業生の方で今回出席できなかった会員の方をお誘いしていただき、もっと盛大に奈良支部総会が開催できるようにご協力をお願いしたいと思います。

最後になりますが、今回参加していただきました御来賓の皆様、大学関係の皆様、近畿圏内各支部長、奈良支部会員の皆様、島津製作所関連の皆様には大変お忙しいなか奈良支部総会にご参加いただき誠に有難うございました。心より御礼申し上げます。

また来年以降も奈良支部総会でお会いできることを楽しみにしています。

今後とも学友会本部・奈良支部の活動にご支援・ご協力いただきますよう何卒よろしく願いいたします。

以上

* 通巻 249 号 2023 年 10 月 10 日発行(2023-No.4)より